



青葉6大学連携 特別講座

入場
無料!!

～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～

10月6日(日)

講義1 桐蔭横浜大学



スポーツ健康政策学部
田中 暢子 教授
[東京2020オリンピック・パラリンピック
競技大会後に遺したいもの]

11月17日(日)

講義1 星槎大学



共生科学部
渋谷 聡 教授
[東京2020オリンピック・パラリンピックで
共生社会を考える]

12月14日(土)

講義1 國學院大学



人間開発学部
一 正孝 教授
[オリンピックの多様性]

講義2 玉川大学



観光学部
三木 日出男 准教授
[スポーツイベントと
旅行産業]

講義2 日本体育大学



スポーツマネジメント学部
山本 博 教授
[金メダルを目指して得られたもの
～五輪メダリストからのメッセージ～]

講義2 横浜美術大学



美術学部
森山 貴之 准教授
[オリンピック・パラリンピック
のデザイン史]

各日とも 講義1 13:00～14:20 講義2 14:40～16:00

会場 青葉区役所4階401会議室

定員 各日100名(先着) ※1日単位での申込みとなります。(複数日参加可) ※全日程参加者にはプレゼントもあります!

申込み 専用サイトまたはEメール・FAXより、①参加者氏名(ふりがな) ②住所 ③年齢 ④電話番号
⑤参加希望日 ⑥学生は学校名を記載してお申し込みください。

※専用サイトは青葉区役所HPが「2019年度青葉6大学連携講座」で検索。または右のコードから→
※EメールとFAXの場合は、件名に「【参加申込み】青葉6大学連携講座」と明記。
※いただいた個人情報は当事業の目的外には使用しません。

問合せ 青葉区区政推進課企画調整係(〒225-0024 青葉区市ケ尾町31-4)
Eメール:ao-kikaku@city.yokohama.jp

電話:978-2216
FAX:978-2410



青葉6大学連携特別講座では、青葉区にある6つの大学が、統一テーマのもとに、各大学の特色を生かした講座を区役所で開催しています。

今年は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、各大学の素晴らしい講師陣による講座となっています。入場無料です。ぜひお越しください！

講義内容

10月6日(日)

講義 1 東京2020オリンピック・パラリンピック
競技大会後に遺したいもの

桐蔭横浜大学
スポーツ健康政策学部

たなか のぶこ
田中 暢子 教授



専門：スポーツ政策学、スポーツマネジメント学。英国ウースター大学名誉教授。2013年英国ラフバラ大学博士課程終了後、現職。共生社会の実現に向けた研究と実践。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与、日本車椅子バスケットボール連盟理事、日本障がい者サッカー連盟理事。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、わが国の多様性、そして共生社会の在り方について考える良い機会になると言われています。どのような社会をつくりたいかを一緒に考えませんか。

11月17日(日)

講義 1 東京2020オリンピック・パラリンピック
で共生社会を考える

星槎大学
共生科学部

しげや さとし
渋谷 聡 教授



専門：スポーツ心理学・陸上競技。スポーツ心理学の理論のもとに、陸上やバレーボールの授業・教材研究を行う。誰でも楽しめるインクルーシブスポーツ普及のために様々な取り組みを行っている。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、世界最高峰の競技スポーツ大会であるオリンピック・パラリンピックと、相手を認める・尊重していく共生社会は成り立つのかということを考えていきます。

12月14日(土)

講義 1 オリンピックの
多様性

國學院大学
人間開発学部

はじめ まさたか
一 正孝 教授



専門：体育・スポーツ学、スポーツ哲学。オリンピック関連の講義を約12年間、特に人文・社会的科学的視点で実施中。

IOCはオリンピック・パラリンピックの意義として「卓越」・「友情」・「敬意」・「勇気」・「強い意志」・「公平」・「インスピレーション」を挙げています。オリンピックの歴史を通して、スポーツとしてのオリンピックのあり方を考えます。

講義 2 スポーツイベントと
旅行産業

玉川大学
観光学部

みき ひでお
三木 日出男 准教授



旅行業界で国際観光に関わる実務経験を積む。英国と中国の駐在時代は個人旅行から団体旅行の仕入れ手配のマネジメントに携わり、2018年より現職。

スポーツイベントの開催は、様々な経済波及効果をもたらすと言われています。本講義ではいくつかのイベントを事例に、旅行関連産業の取り組みについて取り上げていきます。

講義 2 「金メダルを目指して得られたもの」
～五輪メダリストからのメッセージ～

日本体育大学
スポーツマネジメント学部

やまもと ひろし
山本 博 教授



アーチェリーで過去5大会のオリンピックに出場し、1984年ロサンゼルス大会で銅メダル、2004年アテネ大会で銀メダルを獲得。東京都体育協会会長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問、日本財団パラリンピックサポートセンター顧問を務める。

1980年モスクワ五輪から2020年東京五輪まで11大会に挑戦して得られたものは？オリンピックの魅力とスポーツの素晴らしさを紐解き、老若男女すべての人々の人生にスポーツ(運動)を活かす方法を解説します。

講義 2 オリンピック・パラリンピック
のデザイン史

横浜美術大学
美術学部

もりやま たかゆき
森山 貴之 准教授



京都市立芸術大学大学院博士課程芸術学専攻修了、アートプロデュース会社等を経て、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAキュレーター(2010-2013)、2014年より現職。専門は、近現代美術史ならびにデザイン史。

オリンピック・パラリンピックをデザインの視点から考えます。スタジアム建築、開会式・閉会式の演出、ロゴマーク、ポスターデザイン、マスコットキャラクター、補助器具など、その歴史を紐解きながら解説します。

※青葉6大学とは…青葉区にある6つの大学。各大学と青葉区では連携・協力についての協定を締結し、様々な連携事業を進めています。